国立大学法人
福島大学
Fukushima University

プレス発表資料２

平成 27 年 12 月 2 日

ふくしま未来学

福島大学　ふくしま未来学　地域実践学習「むらの大学」

２週間地域滞在フィールドワーク成果報告会のお知らせ（南相馬市・川内村）

日頃から本学に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

福島大学では、原子力災害からの地域再生を目指す「ふくしま未来学」を平成 25 年度からスタートさせました。昨年度からは、住民が一時避難を余儀なくされた地域をフィールドとして、地域課題を実践的に学ぶ授業「むらの大学」を開講し、学生と住民がともに学ぶ、交流機会の創出をめざしています。

昨年度に引き続き、今年度も 8 月後半から 9 月中旬にかけ、南相馬市と川内村において、約 60 名の学生が地域に 2 週間滞在し学ぶフィールドワークを実施しました。

このたびは、そのフィールドワークの事前・事後学習を含めた約 1 年間の中で地域に関わり、学び考えた実習の成果を発表する報告会を開催いたします。この成果報告会は、地元の方々や学内関係者等に広くお集まりいただき、「アイディアを出し合う場」となっています。

つきましては、ぜひとも当日の取材をしていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

記

＜南相馬市フィールドワーク成果報告会＞
■日　時：2015 年 12 月 5 日（土）13 時 30 分～16 時
■場　所：南相馬市民情報交流センターマルチメディアホール

＜川内村フィールドワーク成果報告会＞
■日　時：2015 年 12 月 13 日（日）13 時 30 分～16 時
■場　所：いわなの郷　体験交流館

※合わせてチラシもご覧ください。

【問い合わせ先】
福島大学ふくしま未来学(COC)推進室事務局
担当：新田（南相馬市）、北村（川内村）
Tel　024-504-2850 / Fax　024-504-2849
Mail　miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp
※当日連絡先：080-2844-9501（新田）、080-2844-9502（北村）

福島大学 地域実践学習「むらの大学」

南相馬 フィールドワーク 成果報告会

12月5日(土) 13:30～16:00

▶ どなたでも自由にご参加ください。参加費は無料です。

13:30～

約1年間南相馬について学んだ学生の発表

2週間南相馬市に滞在して学んだことや、その他にも何度も足を運んで南相馬の地域のみなさんと関わったことで、学んだことやこれから取り組んでいきたいことを学生が発表します。

15:00～

学生と地域のみなさんでアイディアトーク

学生と参加者のみなさんが一緒になって、学生が発表した考えに対してアイディアを出したり、「南相馬がもっと面白くなるには」を話したりしながら、南相馬のこれからについて考えます♪

むらの大学「南相馬フィールドワーク」とは？

むらの大学は、東日本大震災や原子力災害によって被害を受けた地域に滞在をしながら、住民との交流をとおして、まちの現状を学ぶ授業です。今年は、22名の学生が8月21日から2週間、南相馬市に滞在をし、住民の生活、生業、文化･･･など、さまざまな角度から「南相馬のいま」を見つめ、私たちにできることを考えました。

南相馬市情報交流センターマルチメディアホール

南相馬市原町区旭町2丁目7番地の1

申込み

参加希望の方は、下記をお電話またはメールでご連絡ください。※電話は土日祝日を除く

①お名前、②ご所属、③連絡先（電話番号）

■TEL: 024-504-2850 ■MAIL : miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp

■主催： 福島大学ふくしま未来学推進室（当日連絡先080-2844-9501 新田）

ふくしま未来学推進室は、原子力災害の経験をふまえ、地域課題を実践的に学び、未来を創造できる人材の輩出をめざす特修プログラムを企画・運営する機関です。

文部科学省 地(知)の拠点 ふくしま未来学

福島大学 地域実践学習「むらの大学」

川内村 フィールドワーク 成果報告会

12月13日(日) 13:30～16:00

▶ どなたでも自由にご参加ください。参加費は無料です。

13:30～

約1年間川内村について学んだ学生の発表

2週間川内村に滞在して学んだことや、その他にも何度も足を運んで川内村の地域のみなさんと関わったことで、学んだことやこれから取り組んでいきたいことを学生が発表します。

15:00～

学生と地域のみなさんでアイディアトーク

学生と参加者のみなさんが一緒になって、学生が発表した考えに対してアイディアを出したり、「川内村がもっと面白くなるには」を話したりしながら、川内村のこれからについて考えます♪

むらの大学「川内村フィールドワーク」とは？

むらの大学は、東日本大震災や原子力災害によって被害を受けた地域に滞在をしながら、住民との交流をとおして、まちの現状を学ぶ授業です。今年は34名の学生が9月4日から2週間、川内村に滞在をし、住民の生活、生業、文化･･･など、さまざまな角度から「川内村のいま」を見つめ、私たちにできることを考えました。

川内村　いわなの郷 体験交流館

双葉郡川内村上川内炭焼場５１６

申込み

参加希望の方は、下記をお電話またはメールでご連絡ください。 ※電話は土日祝日を除く
①お名前、②ご所属、③連絡先（電話番号）
■TEL:　024-504-2850　■MAIL：　miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp

■主催：　福島大学ふくしま未来学推進室　■問合せ：024-504-2850

ふくしま未来学推進室は、原子力災害の経験をふまえ、地域課題を実践的に学び、未来を創造できる人材の輩出をめざす特修プログラムを企画・運営する機関です。

文部科学省 地(知)の拠点 ふくしま未来学